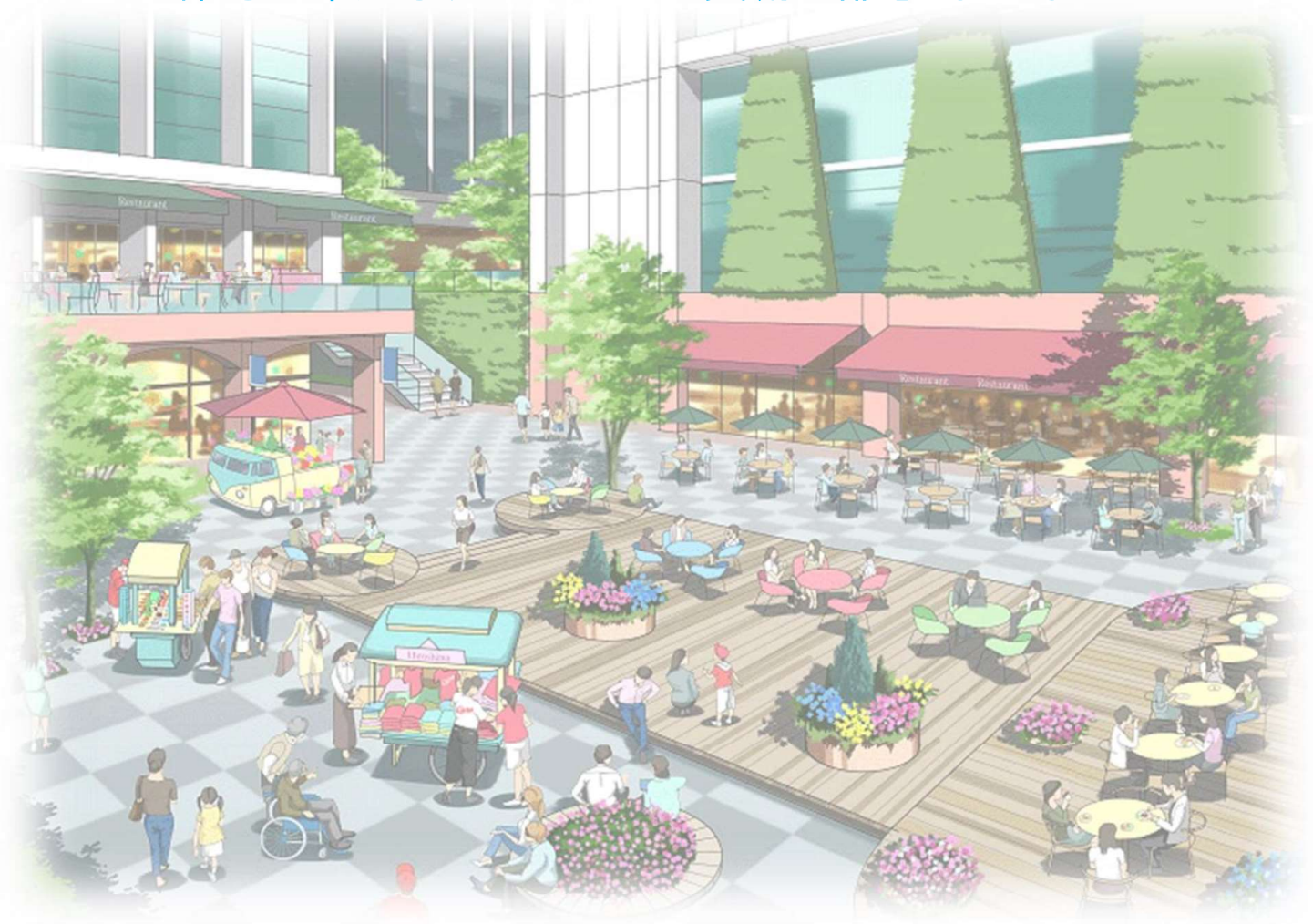


# ひろしま都心活性化プラン

(抜粋)

～ 誰もが集える、にぎわいと交流の都心<sup>まち</sup>“ひろしま” ～



平成 29 年 (2017 年) 3 月

 広島県  広島市

# 第3章 都心の将来像と目指す姿

## 1 都心の将来像と目指す姿

都心の特性と課題等を把握するとともに、広島市の上位計画や都心の役割を踏まえ、広島市の都心の特徴※である、「水と緑が豊かなまち」、「コンパクトなまち」及び「国際的な知名度」を考慮して、広島市の都心の将来像と目指す姿を以下のように掲げます。

※ 広島市の都心の特徴は、「都心のまちづくり“ひろしまワールドカフェ”」での意見等から絞り込んだものです。

### 【都心の将来像】

誰もが集える、にぎわいと交流の都心<sup>まち</sup>“ひろしま”

～様々な人が平和と文化の架け橋となり、

国内外から人を惹きつけ、世界に広島を発信する～

### 【目指す姿】

- ① 広島の魅力が人を惹きつけ、にぎわいと交流を生み出す
- ② 市民や世界中からの来訪者も往来しやすく回遊できる
- ③ 豊かな水と緑に囲まれ、多様な世代が安全・安心で快適に生活できる

都心は、市民はもとより、国内外から多くの人を惹きつけ、市域を越えた地域全体の活力とにぎわいを生み出す中心的な役割を担っています。

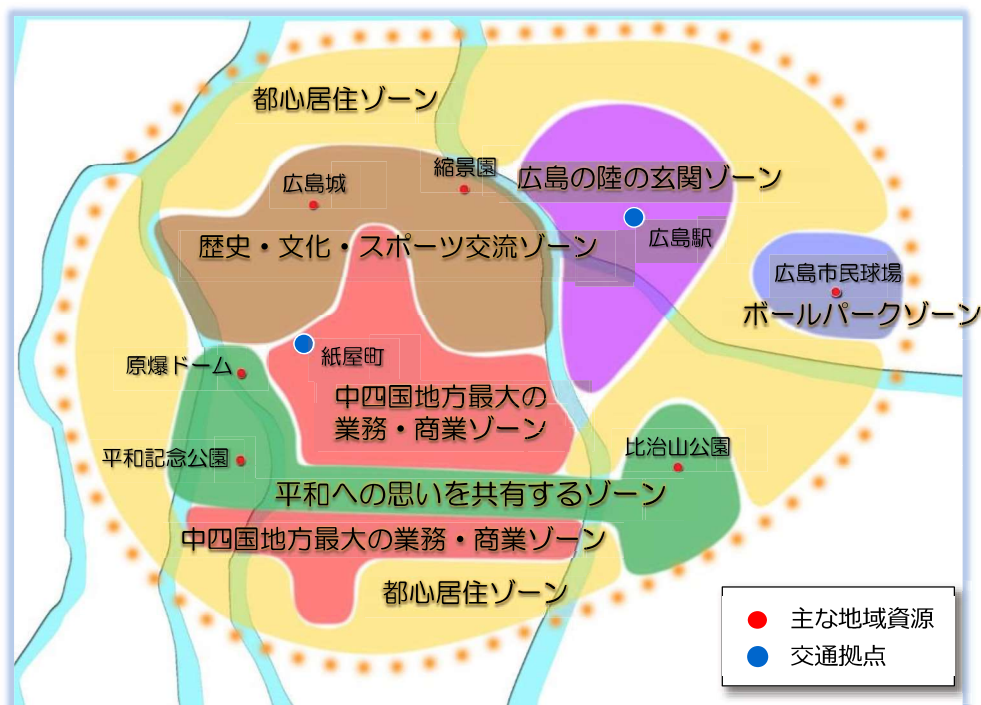
そうした広島市の都心が、特徴である水と緑の豊かさやコンパクトさを生かし、訪れる人にとっては、往来しやすく回遊できるまち、住む人、働く人、学ぶ人にとっては、安全・安心で快適に生活できるまちになるとともに、国際的知名度を生かして、世界中から訪れる人と生活する人の誰もが集える、にぎわいと交流を生み出すまちとなることを将来像として掲げます。

さらに、都心集う、市民、企業、行政などの多様な人や主体が、自分たちのまちに郷土愛をもち、積極的にまちづくりへ関わり、広島市の平和と文化を伝える架け橋となって、持続的に国内外から人を惹きつけ、世界に広島市の魅力を発信していくことを目指します。

## 2 ゾーンごとの将来イメージ

広島市の都心が、「誰もが集える、にぎわいと交流の都心<sup>まち</sup>」になるためには、地域の特性や役割に応じた取組を展開し、広島ならではの魅力をより一層高めていくことが必要になります。

このため、これまでのまちづくりの歩みや都心の現状を踏まえ、広島の都市のイメージとして定着している「平和」など、地域の特性をテーマとして、都心を6つのゾーンに区分し、各ゾーンの目指す将来イメージを描きます。



### 平和への思いを共有するゾーン



- ・特徴  
世界遺産「原爆ドーム」や平和記念資料館を含む平和記念公園、平和大通り、比治山公園などの地域資源があり、平和と復興を感じることができます。
- ・将来イメージ  
平和を願う世界中の人々が出会い、交流し、平和への思いを共有するとともに、被害から復興した広島を実感できる空間となっています。また、平和記念公園と比治山公園をつなぐ平和大通りの空間を活用し、新たなにぎわいを生み出しています。

### 広島駅の陸の玄関ゾーン



- ・特徴  
広島駅周辺地区においては、交通拠点である広島駅の利便性を生かして、再開発が進み、エリアマネジメントの体制づくりが進められています。
- ・将来イメージ  
広島駅の陸の玄関である広島駅の交通機能を最大限に生かして、広域的な商業・業務機能等が集積し、おもてなしの心が感じられる、新たなにぎわいと交流を生み出しています。

## 中四国地方最大の業務・商業ゾーン



- ・特徴  
企業の本店・支店や国の機関が集積するとともに、広域的な商業・文化・飲食・娯楽機能等を有する、中四国地方最大の業務・商業ゾーンです。
- ・将来イメージ  
広島広域都市圏や中四国地方の発展をけん引する、業務・商業・文化・飲食・娯楽機能等が充実・強化されるとともに、広島顔となる風格ある街並みや歩いて楽しい空間が形成され、絶え間なく、にぎわいと交流が生まれています。

## 歴史・文化・スポーツ交流ゾーン



- ・特徴  
広島城、縮景園、西国街道などの歴史資源やひろしま美術館、広島県立美術館、広島県立総合体育館などの文化・スポーツ施設があり、中央公園、基町環境護岸や京橋川の河岸緑地など水と緑にふれることができます。
- ・将来イメージ  
歴史・文化・スポーツ施設といった多くの地域資源を生かして、広島ならではの水と緑豊かな都心のオアシスが形成され、人々が集い、憩い、交流するにぎわいを創出しています。

## ボールパークゾーン



- ・特徴  
広島市民球場を核とし、国内外から人々が訪れ、周辺施設と一体となって、新たな広島の元気を生み出しています。
- ・将来イメージ  
広島新たなシンボルである広島市民球場を中心に、広域的な集客による、にぎわいを創出しています。

## 都心居住ゾーン



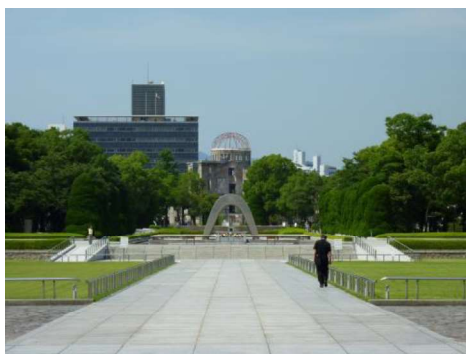
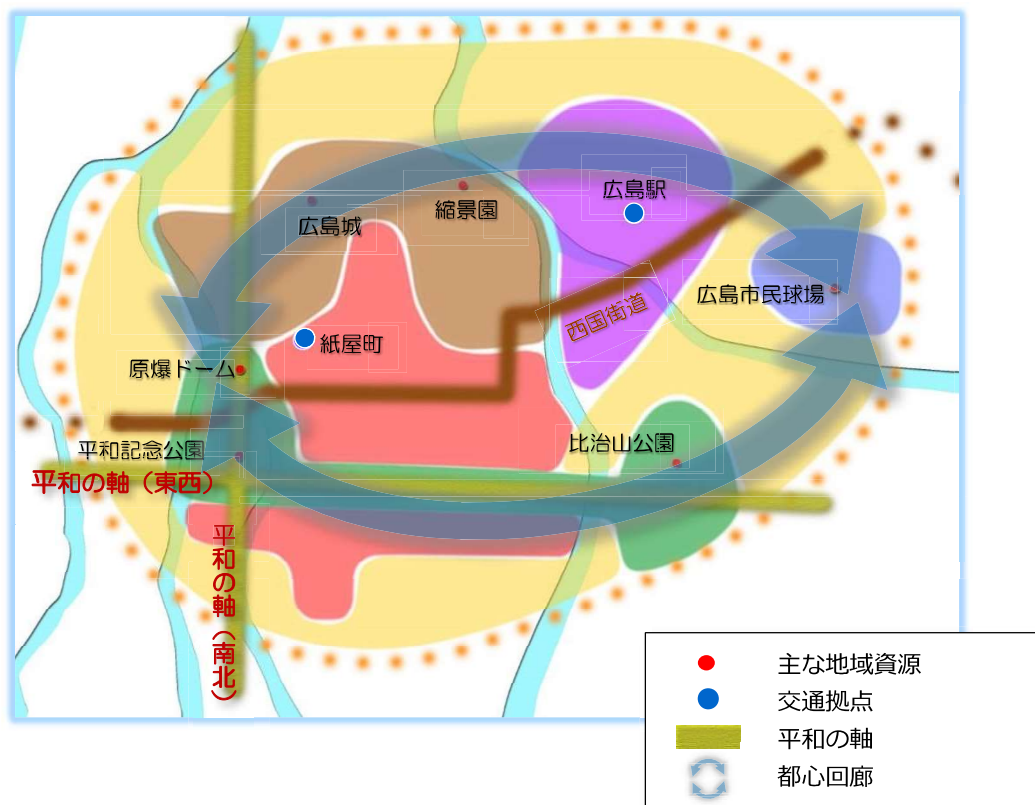
※イメージ

- ・特徴  
都心の東西の核である、「広島駅周辺地区」及び「紙屋町・八丁堀地区」の周辺に位置し、高い生活利便性を享受できる居住環境です。
- ・将来イメージ  
医療・福祉・子育て支援・商業等の都市機能を有する生活利便性の高い施設が近接し、高齢者がひとりでも不自由なく安心して生活でき、子どもたちがのびのびと育つ環境が整い、様々な人が住みたいと思うまちになっています。

### 3 都心回廊づくり

広島市の都心が「誰もが集える、にぎわいと交流の都心<sup>まち</sup>」になるためには、ゾーンごとの将来イメージを実現することに加え、各ゾーンがつながり、にぎわいと交流を都心全体に広げていくことが必要です。

このため、平和記念公園を設計した丹下健三氏らの構想に基づく「南北の軸」と、平和大通りによる「東西の軸」を平和の軸として、都心に存在する平和記念公園、広島城、広島市民球場、比治山公園などの地域資源を<sup>めぐ</sup>る「都心回廊」という考え方の下、「人が中心となる回遊ネットワーク」、「おもてなしを創出する水・花・緑のネットワーク」の形成を目指します。



南北の軸  
(平和記念資料館本館から原爆ドーム方向を望む)



東西の軸  
(平和大通り)

### (1) 人が中心となる回遊ネットワーク

徒歩、自転車及び公共交通により、市民や世界中からの来訪者など誰もが安心して、楽しく移動できるよう、交通拠点である広島駅や紙屋町と各ゾーン、またはゾーン相互をつなぐ歩行者ネットワーク・自転車ネットワークの整備、公共交通ネットワークの充実・強化などにより、車依存社会から脱却し、人が中心となる回遊ネットワークを形成します。

**将来イメージ**

**誰もがスムーズに回遊できるまち**

分かりやすい案内サインや案内情報、ユニバーサルデザインに配慮した公共交通などにより、世界中からの来訪者をもてなし、誰もが迷うことなく円滑で快適に目的地に移動することができるまちになっています。



**歩いて楽しい人中心のまち**



市民や世界中からの来訪者が、自動車交通を気にすることなく自由に散策でき、食文化など広島ならではの魅力的な店舗が建ち並び、歩いて楽しい空間が形成されています。

**歩きやすい歩行空間**

歩道と車道の段差を小さくするとともに、低縁石やボラードの設置により歩行者の安全を確保するなど、安全で快適に回遊できる歩行環境が整備され、誰もが歩いて楽しく回遊できるようになっています。



**誰もが快適にめぐることができるまち**



誰でも手軽に利用できるレンタサイクルや自転車走行空間を整備するなど、市民だけでなく、世界中から訪れる来訪者も、観光施設などを快適にめぐることができるようになっています。

**誰もが利用しやすい交通拠点**



おもてなしの玄関である広島駅が、乗り継ぎしやすく、分かりやすい交通拠点となっており、世界中からの来訪者が、次の目的地まで安心して移動することができるようになっています。